

省力的に硬質小麦「ニシノカオリ」を安定生産できる

肥効調節型肥料 利用対象：（硬質小麦「ニシノカオリ」を栽培する経営体）

背景

硬質小麦を高品質安定生産するには基肥施用に加え、3回の窒素追肥が必要であり大きな労力を要しますが、生産現場は経営規模拡大により適期追肥が困難な状況となっています。その対策として肥効調節型肥料による省力的施肥技術などが望まれています。が、今まで、硬質小麦に特化した肥効調節型肥料はありませんでした。

特徴

- ・本肥料は、速効性肥料と 30 日タイプのシグモイド型および 20 日タイプのリニア型緩効性肥料が 1:2:2 で配合されています。
- ・慣行の施肥体系と比べて追肥を省略できます。
- ・慣行の施肥体系と同程度の収量および品質を得ることができます。



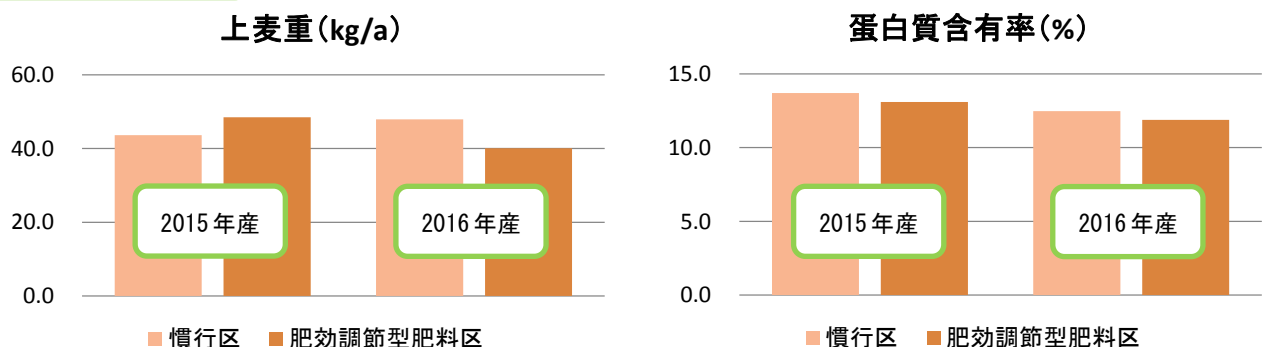
施肥体系の概要

施肥方法	基肥 (播種期)	追肥1 (幼穂形成期)	追肥2 (止葉抽出始期)	追肥3 (穂揃期)
慣行	● 7kg	● 3kg	● 3kg	● 3kg
肥効調節型肥料	● 16kg			

注) 10a あたりの窒素施肥量

注) 肥料詳細 (N-P-K) : 肥効調節型肥料(32-5-5)

収量および品質



お問い合わせ先	三重県農業研究所 農産研究課 中央農業改良普及センター 地域農業推進課	電話 0598-42-6359 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP: http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm	